

様式は正しいか？
記載漏れはないか？

造林した者の住所、氏名になっているか？
会社名を記入の場合は、担当者の名前も記入すること。

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

年 月 日

真岡市長 殿

住所

報告者 氏名

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8

造林箇所ごとに届出を作成する。
複数地番にまたがる場合は、すべての地番を記載する。

1 森林の所在場所

「造林計画書」に従ったものとなっているか？

市	町	大字	字	地番
郡	村			

2 伐採後の造林の実施状況

面積が小数点第2位までとなっているか？(第3位で四捨五入)

	造林の方法	造林の期間	樹種	造林面積	造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林				ha	本		
天然更新				ha	本		

届出書に記載した期間に収まっているか？

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されているか？

鳥獣害対策をする予定がある？
現在対策を実施しているか？
方法も記入(防護柵の設置、幼齢木保護具の設置等)

3 備考

届出書に記載した方法となっているか？

複数の樹種を造林する場合は、樹種ごとに記載されているか。

相続等により届出者と異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報が記載されているか？

提出すること。

- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。